

平成30年度の取組について

企業誘致推進事業（対象業種の拡大）

対象業種に「農業」、「宿泊業」、「医療」を追加し、幅広い産業の事業所誘致を推進する。

また、地域未来投資促進法に係る熊谷市基本計画を策定し、地域経済を牽引することが期待される地域の中核となる企業等を集中的に支援する。

不育症治療費等助成事業（4月～）

不育症のため出産に結びつかない夫婦に対し、不育症の検査または治療に要する費用の一部を補助（補助率：10/10、上限額：検査費3万円/年、治療費30万円/年）し、経済的な負担の軽減を図ることにより少子化対策を推進する。

夏休み児童クラブ拡充事業（6月～受付）

長期休業期間である夏休みの保育ニーズに応えるため、利用ニーズの高い小学校において、期間を限定し児童クラブを開設する。

放課後児童保育室整備事業（新規整備 9～10月予定）

昼間、保護者のいない家庭の児童の健全育成を図るため、待機児童等の状況に応じ、児童クラブを整備する。平成30年度は2か所に児童クラブを整備する（計46か所）。

その他、平成30年度中の拡張予定だった2か所は前倒しして4月1日に開所する。

子育て応援団・人材の育成

子育て世代を地域の人々で応援・支援するため、市民を対象に、子育ての知識や情報に係る講演会やワークショップを開催する。年3回開催予定。

病児・病後児保育事業（4月～）

安心して子育てと仕事が両立できる環境を整備するため、病気回復期のお子さんを預かる病後児保育に加え、医療機関との連携により病気のお子さんを預かる病児保育を開始する。

保育コンシェルジュの窓口設置（4月～）

保育課窓口「保育コンシェルジュ」として嘱託職員2名を配置し、保育所への入所を希望する保護者の相談に対し、保護者のニーズに合ったきめ細やかな情報提供を行う。

市内高校生のための企業説明会

地元就職による職住近接の実現を目指し、定住人口の増加を促進するため、妻沼高等学校の学生を対象に、市内企業・地域金融機関と連携し企業説明会を実施する。本年度6月22日開催。

市内循環バス（ゆうゆうバス）の利便性向上（10月～）

妻沼地区を循環し、籠原駅を往復する「グライダーワゴン」を新設し、増便及び運行時間の短縮を図る。またスマートフォン等で運行状況が閲覧できるバスロケーションシステムを導入する。

空家等の適切な管理に関する条例（本年度施行予定）

空家等が周辺的生活環境に悪影響を及ぼすことを未然に防止するために必要な施策を実施するための条例施行を目指す。

訪日外国人おもてなし事業

外国人観光客の安心快適なおもてなし環境を整備するため、英語で市内をガイドする観光ボランティアの育成、観光客とガイドとのマッチングを行う。

観光情報誌の記者育成及び発行事業

熊谷市の観光情報を発信する市民ライターの育成と熊谷オリジナル観光情報誌（d design travel KUMAGAYA）を発行し、配布する。

英語教育推進事業

小中学校における英語教育の充実と国際感覚を養うため、通年英語指導助手を派遣する。また、英語力日本一を目指し、ストーリー性のある教科書を1年間で何度も繰り返し学習する「ラウンドシステム」を市内全中学校の1年生から実施するとともに、全中学生を対象に、タブレット端末を活用した「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」の4技能測定ができる英語テスト「GTEC」（ジーテック）を導入する。